

## 草津市都市計画審議会の結果について

1. 開催日時 平成30年5月23日（水）  
午後3時00分～午後4時45分
2. 開催場所 草津市役所4階 行政委員会室
3. 審議案件  
議第1号 草津市立地適正化計画、草津市版地域再生計画、草津市地域公共交通網形成計画の策定について
4. 報告案件  
都市再生整備計画事業（旧草津川周辺地区）のフォローアップについて
5. 出席委員数 14名中11名

### 6. 開会の挨拶〔山本都市計画部長〕

本日は、公私とも御多用のところ、草津市都市計画審議会に御出席をいただきましてありがとうございます。審議案件の草津市立地適正化計画、草津市版地域再生計画、草津市地域公共交通網形成計画の策定につきましては、今般計画案がまとまったところでございます。本日、御報告をさせていただきます。皆様方から御意見を頂戴したいと思っております。報告案件につきましては、平成29年3月の都市計画審議会ですら事後評価について御審議をいただいたところでございます。今回、フォローアップを行いましたことから、その結果を報告させていただきますのでよろしくお願いいたします。

以上、委員の皆様方には、御審議いただきますようよろしくお願い申し上げます。簡単ではございますが、御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 7. 審議経過のうち主な発言の内容

#### (1) 審議案件

- 草津市立地適正化計画、草津市版地域再生計画の見直しについては、概ね5年ごととなっているが、日々変化が多い時代なので3年くらいでの見直しが必要でないのか。
- 立地適正化計画の見直しにおいては、国の指針で概ね5年となっています。ただし、都市計画マスタープランや、今回の3計画は全て関連しているため、都市計画マスタ

ープランの改定時や見直し時には、同時期に計画を見直します。また、将来の人口予想が当初から著しく変わった際にも見直しを行います。

○ 草津市地域公共交通網形成計画について、公共交通を維持するためにコスト面や料金面の検討はこの計画に含まれるのか。

→ この計画の中で、具体的な方向性については記載していませんが、高齢者の方の免許自主返納の取り組みも併せて、公共交通での移動を確保することを考えており、料金体系についても検討していくことになるかと考えています。

○ 公共交通の利便性に関する目標値（草津市立地適正化計画）と交通環境の充実の目標値（草津市版地域再生計画）は、どちらも2040年には53%となっているが、市街化区域と市街化調整区域でどちらも同じ満足度を目指すのか。

→ 草津市立地適正化計画の目標値については、市の全体の満足度となります。23年間の平均的な伸び率を見込み、目標値を算出しました。また、草津市版地域再生計画の目標値については、対象区域である7つの学区の満足度であり、「公共交通機関の便がよいと思えますか」という設問に対し、「どちらとも言えない」と答えている方が、将来的に「そう思う」、「ややそう思う」と答えていただけることを目標として、この目標値を算出しました。積算方法は異なりますが、目標値は結果として同じ数値となっています。

○ 草津市版地域再生計画について、例えば、対象地域に商業施設を誘致する場合、市としてどのようなサポートをしようと考えておられるのか。

→ まずは、対象地域に何が必要かを地域と議論を進め、都市計画課だけではなく各関係課とも連携しながら対応をします。誘致を希望されるなかで、例えば、その場所へのアクセスの確保などで行政としてサポートしつつ、地域と一緒に進めていくことを考えています。

○ 草津市版地域再生計画では、人口減少が進む中で、生活拠点をどのように作っていくのかイメージが湧かない。

→ 市街化区域で駅周辺に人が集まってくるように、市街化調整区域においても、まずは、交通拠点を作り、人々が集まれる憩いの場を作ることで、生活拠点を形成していくことを考えています。

## (2) 報告案件

○ 都市再生整備計画区域である旧草津川周辺の山田町付近の出っ張り部分について区域に含まれている理由を教えてください。

→ 当初、このエリアでハード事業が検討されていたことから都市再生整備計画区域に含まれております。結果として、この事業はなくなりましたが区域としては残っているという状況であり、都市再生整備計画自体は計画期間が終了しております。

○ 草津宿本陣の入館者数が横ばいであるがどのように考えているか。

→ 草津川跡地整備によって、草津宿本陣の入館者数増加を目標としていましたが、結果として連動が図れませんでした。今後の課題として、回遊性を高めるための施策を考えていきます。